

令和6年12月8日

令和7年度 日本大学芸術学部写真学科
外国人留学生選抜選考 小論文問題

写真は視覚芸術ですが「写真を読む」という言い方があります。これはどういう意味ですか。あなたの考えを述べなさい。

(60分, 600字)

以 上

試験問題

次の文章は2008年公開の『戦場でワルツを』（監督・脚本：アリ・フォルマン）の映画評（上野千鶴子『映画から見える世界』第三書籍館 2014年刊行）です。この文章を読んで自由な観点から自分自身の意見を述べてください。

2009年のアカデミー賞で、『おくりびと』と外国語映画賞を争ったと言われる話題作。アリ・フォルマン監督その人と思われる40代の男性が、24年前の戦場の記憶をたどり歩く。82年当時19歳だった主人公は、徴兵を受けて隣国レバノンの戦場へ送りこまれる。なぜそこにいるのかもわからないまま、恐怖に支配されてしやにむに銃を撃ち続ける。どこからか飛んでくるロケット砲や狙撃弾。殺さなければ殺される。戦場は不条理というほかない。そんなところに、ほんの十代の少年が放り出されるのだ。

かれは戦場の記憶を失っている。それを取り戻すべく戦友たちを訊ね歩く。このセミドキュメンタリーにフォルマン監督はアニメーションを使うという、まさかの手法を思いついた。なんてこった、実況中継の映像ですらフィクションにしか見えない戦争シーンに、はなからウソのアニメを持つてくるとは！

あまりのことに本当とは思えない戦場シーンをアニメで見せられているうちに、見る者は、解離現象（トラウマ的な経験を忘却によって回避する心理的機制）をリアルに経験する。これは事実なのか、虚構なのか？ オレはたったいま誰かを殺したのか？ 次の瞬間、自分も吹っ飛ぶのか？

何に対しても現実感を持ってないまま、殺人マシンと化していく兵士の不気味なリアルが、かえって追ってくる！

主人公の記憶の欠落が、パレスチナ難民キャンプで起きたサブラ・シャティール大虐殺に関わっているらしいことがしだいにわかってくる。最後に監督はアニメとドキュメンタリー映像とを重ね合わせるという仕掛けをやつてのける。その瞬間、解離が解ける。記憶と現実とが一致する圧倒的な瞬間だ。

アニメが見せてくれるのはただの事実ではない。心が経験した現実だ。それがどれほど深い痛手を負っているかが見る者に伝わってくる。

あれから4半世紀。イスラエルは徴兵制をやめていないし、パレスチナ難民キャンプへの侵攻もやめていない。これからも主人公と同じトラウマに苛まれる何人もの若者が生み出されるだろう。イラクでも、アフガニスタンでも、チェチェンでも。

それにしても、この反イスラエルの作品がイスラエル・アカデミー賞最優秀作品賞をはじめ最優秀脚本賞、最優秀音響賞などを総なめにしたとは信じがたい。「自国産のものなら毒（プワゾン）という名の香水にかけた」でも売り出すのです」と言った、ミシエル・フーコーの辛辣な発言を思い出す。

（上野千鶴子『映画から見える世界』第三書籍館 2014年）

※題名欄には題名を記入すること。

※字数 一〇〇〇字

※時間 一〇〇分

●試験内容に関する質問には応じない。

●この問題用紙はメモに利用しても良いが、試験終了後回収する。

令和七年度

(2023年度)

実技試験問題

発声 一 【次の内容をはっきりと述べてください。】

受験番号()番、()氏名()です。

出身は()国名・都道府県名()で、学校は()学校名()高校を卒業する予定です。
年齢は、()歳です。

発声 二 【次の文章を朗読して下さい。尚、()内は朗読しなくて結構です。】

また、人がおもしろさを感じて笑う要素として、桂枝雀師は、かつらしじやく「他人のちよつとした困り」を挙げています。ちよつとした困りは、当てが外れたり、へまをしたりで起こります。他にも、人がたくさんいるところで、自分の子が駄々をこねるということもこうした例の一つです。父と子が主人公の『初天神』では、出店がたくさん並ぶ参道で、子どもが「ねえ、あめ買って」とせがんできます。父親が「何も買わない約束だろ」と言っても、子どもは「いいだろ、一個だけだから」と引き下がりません。子どもは周りの人に聞こえよがしに「えーん！」と泣いて、父親はばつが悪くなる、というのもクスグリになります。

(「やわらかな知性 認知科学が挑む落語の神秘」野村亮太著 dZERO)

動作 【次の内容をしぐさのみで表現して下さい。】

〔設定〕下校時。昇降口。スマートフォンを見ながら下駄箱前に来た。

スマートフォンを見ながら自分の下駄箱を開ける。

自分の靴が無い。

誰かのいたずらか。

他の下駄箱を開けてみるが、他の下駄箱の中にも靴は無い。
たまたま佇んでいると、一列手前の下駄箱を見ていたことに気付く。

知らない生徒がこちらを見ている。

足早に自分の下駄箱の列へ向かう。

(そのまま退場してください)

2025 年度 美術学科

絵画コース（絵画専攻） 外国人留学生・帰国生選抜入試

令和 6 年 1 2 月 8 日

実技試験問題

〔 内容 〕 6 時間 鉛筆を用いて静物を描く



〔 モチーフ 〕

- レモン × 2
- 洋梨 × 1
- 布 × 2
- 青リンゴ × 2
- 赤りんご × 2
- 水差し × 1
- ガラス瓶 × 1
- パスタ × 1
- マグカップ × 1
- 木製ボウル × 1

以上

2025 年度 美術学科

絵画コース（版画専攻） 外国人留学生選抜入試 令和 6 年 12 月 8 日

実技試験問題

[内容] 6 時間 鉛筆を用いて静物を描く



[モチーフ]

- 桶 × 1
- ボウル × 1
- ブラシ × 1
- 布

以上

2025 年度 美術学科

彫刻コース（彫刻専攻） 外国人留学生入試 令和 6 年 1 2月 8 日実技試験問題

[内容] 6 時間分 デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択して、モノと空間を描く



[モチーフ]

●竹箒 × 17

●かご台車 × 1

以上

令和七年度 文芸学科入学者選抜（外国人留学生・帰国生選抜）

小論文問題

■ 次のテーマについて、あなたの考えを日本語で論じなさい。

（タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください。）

テーマ「あなたにとっての文学とは」

◎ 時間 六〇分

◎ 字数 八〇〇字以内



令和7年度 留学生選抜 演劇学科 作文課題

「伝統との距離」をタイトルとし、あなたの思うことや物語を自由に作文してください。
(600字/60分)

※以下、余白・裏面はメモとして使用することができます。

※この用紙は試験終了後に回収します。

受験番号 _____

氏名 _____



令和7年度 留学生選抜 演劇学科 舞台構想コース プレゼンテーション課題

「舞台芸術の問題点」について、あなたの考えをプレゼンテーションしてください。準備時間は60分です。その後、口述で5分発表をしてもらいます（個別）。

※以下、余白・裏面はメモとして使用することができます。

※この用紙は準備時間終了後に一度回収し、口述発表の前にお戻しします。

受験番号

氏名

2025 年度

留学生選抜 演劇学科演技コース【演技】問題

【問題】

次のシーンを演じてください。

ふね あなた、この詩、どうして知ってるの？

海 だってホイットマンの詩でしょう。ホイットマン好きだったか。

ふね この詩は、ホイットマンのどの詩集にも出ていないのよ。

海 そんな。

ふみ ある時、あたしふうつと気になって調べてみたの……ところがぜんぜん出ていない……だから、ほかの誰かの詩か、それともあの人が自分で作ったか……

海 あたし、読んだ、なにかで読んだ……

電車の音が、近づいてくる。

海 なんだか、うるさいわねえ。

ふね ホント。

海 そういえば、この店だけじゃなくて、操車場もなくなるんだった。

ふね そうなれば、なにかもののっぺらぼう……

海 もう誰も逃げこんではこない……

その時、電車の音が異様に近づいてくる。

轟音……

震動、白煙……

電気機関車のヘッドが壁を大きく突き破って侵入する……

(清水邦夫『なぜか青春時代』より)

※ このテキストは持ったままで構いません。

【音感・リズム感】課題

リズム感はグループで実施
音感は一人ずつ実施

【リズム感】

一定のリズムの中で、他者との意思疎通を図る

【音感】

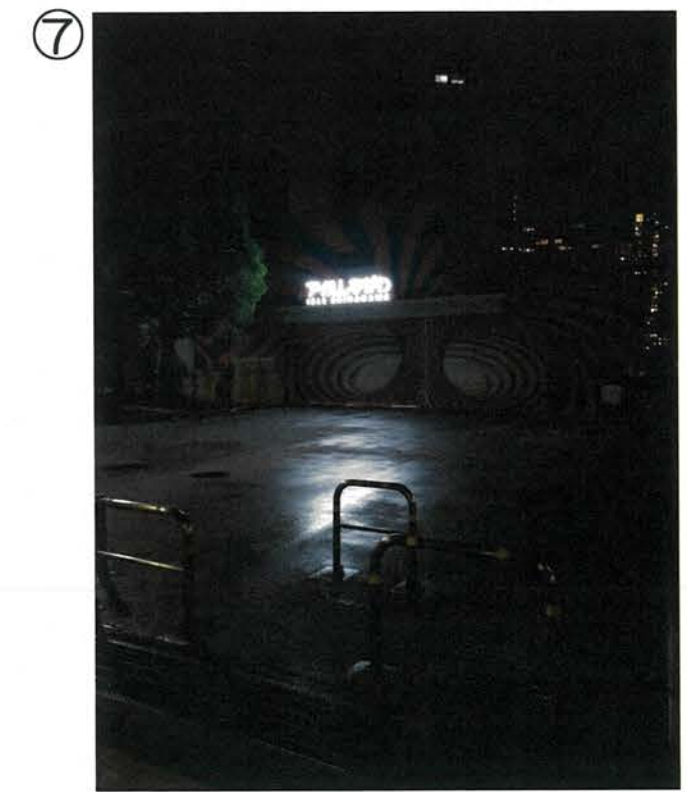
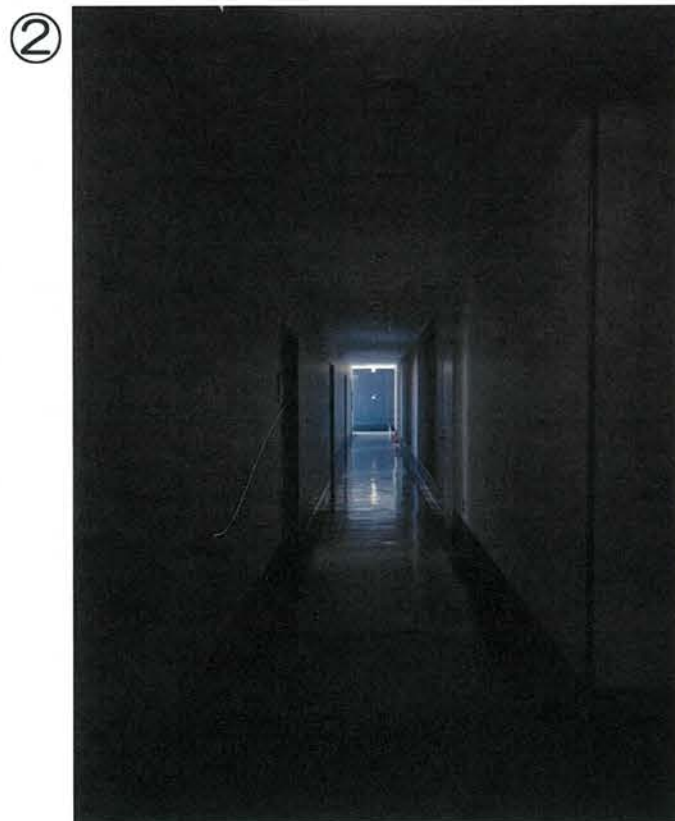
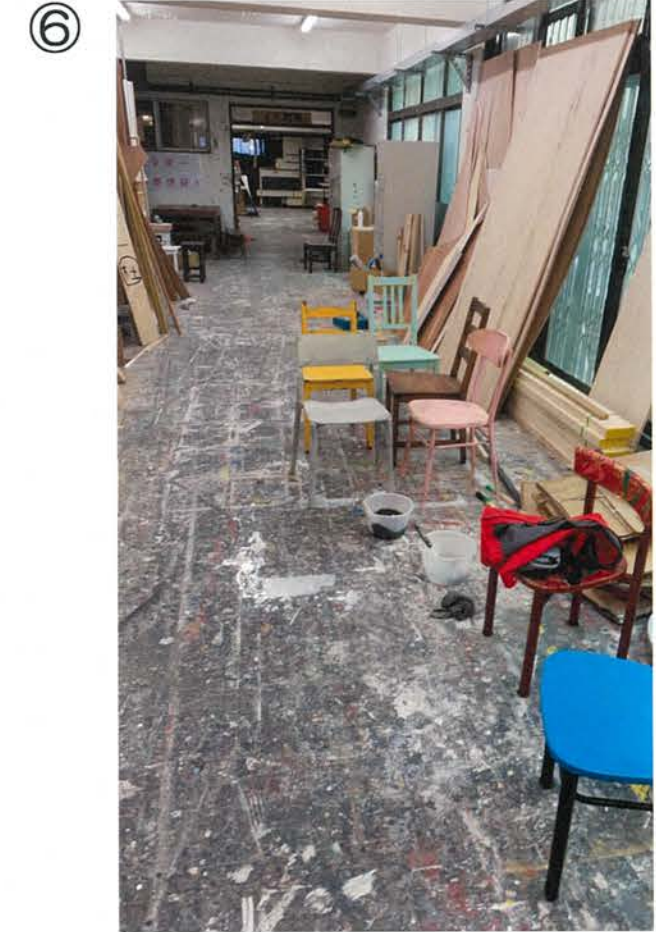
アカペラで歌う

令和7年度 演劇学科 留学生選抜 舞台美術コース 実技試験 問題用紙

番号：

氏名：

以下の画像のうち物語性を感じる2枚を選択し、その組み合わせから舞台空間を構成しなさい。
(プレゼンテーションシートにアイデアをまとめ、プレゼンテーションに使用すること。資料作成時間は60分、プレゼンテーションは1人5分とする。)



令和7年度 演劇学科 留学生選抜 舞台美術コース 実技試験 プレゼンテーションシート

番号：	氏名：
-----	-----

令和7年度外国人留学生・帰国生選抜放送学科作文試験問題

作文課題

「タイミング」

六〇〇字

六十分

試験実施日 令和6年12月8日（日）

デッサン (4 時間)

用 紙: B3 画用紙

画 材: 鉛筆

【課題】

与えられたモチーフ、「プラスチック液体密閉びん」、「ピンポン球」、「グレーのラシャ紙 (B4 版)」、「P が印刷された紙 (A4 版)」を以下の条件にもとづき、台紙の上にセットし鉛筆でデッサンしなさい。

【条件】

1. モチーフは「プラスチック液体密閉びん」、「ピンポン球」、「グレーのラシャ紙 (B4 版)」、「P が印刷された紙 (A4 版)」とする。
※モチーフ配布時に「ピンポン球」は「プラスチック液体密閉びん」の中に入っていますが、蓋を開き、各自で取り出して使用すること。
2. 配布された「ピンポン球」は1つだが、10 個がプラスチック液体密閉びんの中に、5 個は容器の外の台上にそれぞれ任意に配置されている状態を想定して描くこと。
3. 「グレーのラシャ紙」は加工せず、他のモチーフの下に平に敷いた状態でセットすること。
4. 「P が印刷された紙」は加工せず、「グレーのラシャ紙」の上に平に敷いた状態でセットすること。
5. モチーフの固定には、ねりゴムを使用してもよい。
6. 台紙は描かなくてもよい。
7. 配布した白いコピー用紙 (A3 版) は下描きに使ってもよい。
8. 定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。ただしはかり棒の使用は可。
9. 用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。

